

11/24(月・祝)に HBMS 医療シンポジウム ～広島から持続可能な医療提供体制のあり方を考察～ を開催します！

県立広島大学大学院経営管理研究科（HBMS）は、2年間でMBA（経営修士）の学位が取得できる、中国地方唯一の「働きながら学ぶ社会人のためのビジネススクール」です。

HBMS では、特長的なカリキュラムとしてヘルスケアマネジメント専門科目を設けており、これまで入学者の約4分の1がヘルスケア分野に所属し、ヘルスケア分野の経営課題等について学んでいます。

この度、『広島から持続可能な医療提供体制のあり方を考察する』をテーマに、長年医療政策に携わった実務家や研究者の方々をお招きして、HBMS 医療シンポジウムを開催する運びとなりました。

県内で医療提供に携わっている方々に、これからの医療経営の一助となるべく、日本及び広島県の医療に関して多様な視点で考察してまいります。

報道機関の皆様におかれましては、是非、ご取材いただきますようお願いします。

1. 日時・場所等

日 時：令和 7 年 11 月 24 日（月・祝）13:00～17:00（開場 12:30）

場 所：広島国際会議場（広島市中区中島町 1－5） 中会議室（コスモス）

定員等：100 名（予定）、参加費無料

2. 出席者（予定）

○講師及びパネリスト：

- ・神田 裕二氏（社会保険診療報酬支払基金 理事長、県立広島大学 HBMS 客員教授）
- ・島崎 謙治氏（国際医療福祉大学大学院教授、長野県立病院機構理事）
- ・北原 加奈子氏（医師、広島県健康福祉局長）
- ・一戸 和成氏（医師、県立広島大学 HBMS 教授）
- ・島川 龍載氏（県立広島大学 HBMS 准教授）

○モデレーター：遠藤 邦夫氏（県立広島大学 HBMS 教授）

3. タイムスケジュール・内容（予定）

13:00	開会挨拶 HBMS 研究科長 米倉 誠一郎 教授
13:10～15:10	第 1 部 講演
	『医療制度の未来を切り開くためには』（仮題）島崎 謙治氏
	『支払基金改革と医療DX』（仮題）神田 裕二氏
15:10～15:30	休憩
15:30～16:50	第 2 部 パネルディスカッション
16:50	閉会挨拶 HBMS 専攻長 江戸 克栄 教授

4. 申込方法・申込締切

下記 URL の HBMS ホームページからお申込みください。

<https://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/events/archives/13400>

申込締切は、11 月 21 日（金）12:00 までです。

5. 取材について

取材を希望される場合は、11 月 20 日（木）12：00 までに HBMS マネジメント課（082-251-9726）にご連絡下さい。

HBMS医療シンポジウム

～広島から持続可能な医療提供体制のあり方を考察～

無料

11月24日 (月・祝)

13:00～17:00 (12:30開場)

広島国際会議場 (広島市中区中島町1-5)

中会議室コスモス (定員100名)

※HBMS：県立広島大学大学院経営管理研究科
中国地方で唯一MBA学位が取得可能なビジネススクール

第一部 (講演)

開会挨拶 米倉 誠一郎氏 (県立広島大学HBMS研究科長)

13:10～15:10

① 「医療制度の未来を切り開くためには (仮)」

講師：島崎 謙治氏 (国際医療福祉大学大学院教授)

② 「支払基金改革と医療DX (仮)」

講師：神田 裕二氏 (社会保険診療報酬支払基金理事長)

第二部 (パネル)

15:30～17:00

「広島から持続可能な医療提供体制のあり方を考察する」

パネラー：神田 裕二氏 (社会保険診療報酬支払基金理事長)

島崎 謙治氏 (国際医療福祉大学大学院教授)

北原 加奈子氏 (医師、広島県健康福祉局長)

一戸 和成氏 (医師、県立広島大学HBMS教授)

島川 龍載氏 (県立広島大学HBMS准教授)

モデレーター：遠藤 邦夫氏 (県立広島大学HBMS教授)

閉会挨拶 江戸 克栄氏 (県立広島大学HBMS専攻長)

申込はQRから11/21まで

申込・問合せ先

県立広島大学HBMSマネジメント課 (TEL: 082-251-9726)

E-mail : mba-office@pu-hiroshima.ac.jp

